



■背景・目的

街に対する大規模集合住宅の与える影響は大きい。現状では、その影響は限りなくマイナスであり、今後も増え続ける大規模集合住宅に歯止めがかかることはなさそうである。大規模集合住宅の特徴は巨大な敷地に対して、巨大な壁面を持ち、空への視界を遮る要素となる。さらには、内部の住人のプライバシーの確保に専念するが為に、街に対しては閉鎖的なつくりになっている。また、街に開いた店舗や公益施設を併設しているものもあるが、その場合でも居住エリアは強固なセキュリティで囲われ、街からは独立した環境である。

■コンセプト

大規模集合住宅に公共施設を複合させることで、街の拠点をつくる。集合住宅と公共施設の複合の方法として、従来のような棟や階層で分断するのではなく、一体的に複合することが重要であると考えます。

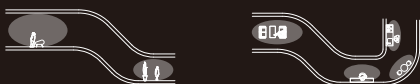
そこで、うねるチューブ空間を用い、それらが互いに絡み合いながら積層する形態を本計画に用い、大規模集合住宅を街に接続させる。

■計画地

計画地は世田谷区池尻。敷地の南側は大規模な施設が建ち並び、北側は低層の住宅地となっている。

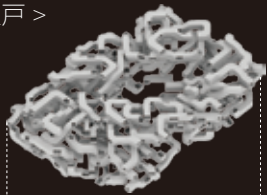
■うねるチューブ

< 鉛直方向のうねり > < 水平方向のうねり >

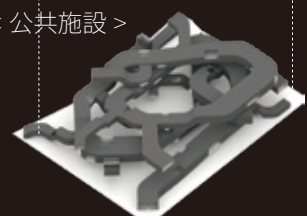


チューブにおいて、うねることで空間を緩やかに分ける。住戸においては、様々なシーンを持つワンルームの空間となり、公共施設においては、異なる機能を含んでおり、それらが連鎖する空間となる。

< 住戸 >



< 公共施設 >



公共施設である大きなチューブと住戸の小さなチューブで構成される。住戸に関しては、一本の小さなチューブが一つの住戸である。公共施設に関しては、ダブルスパイラル状の一本の大きなチューブとそれから枝分かれしているチューブから成る。





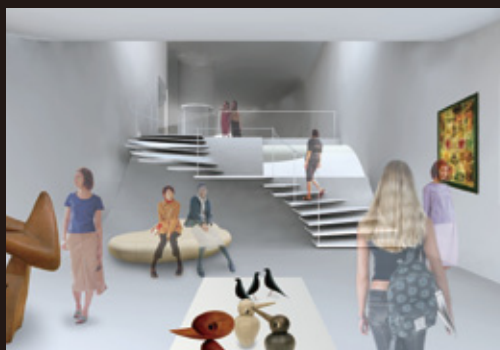
外観パース



中庭



LEVEL0 新刊・雑誌コーナー



LEVEL4 ギャラリー

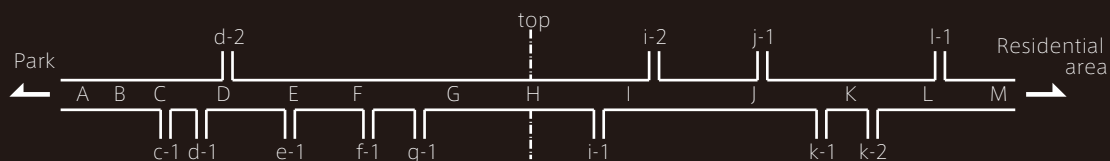
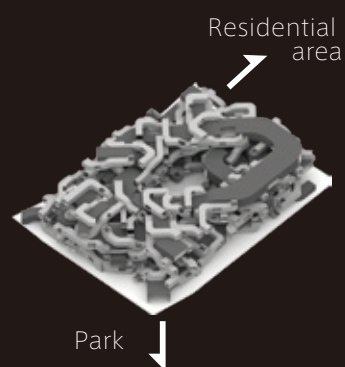


LEVEL3 屋外テラス



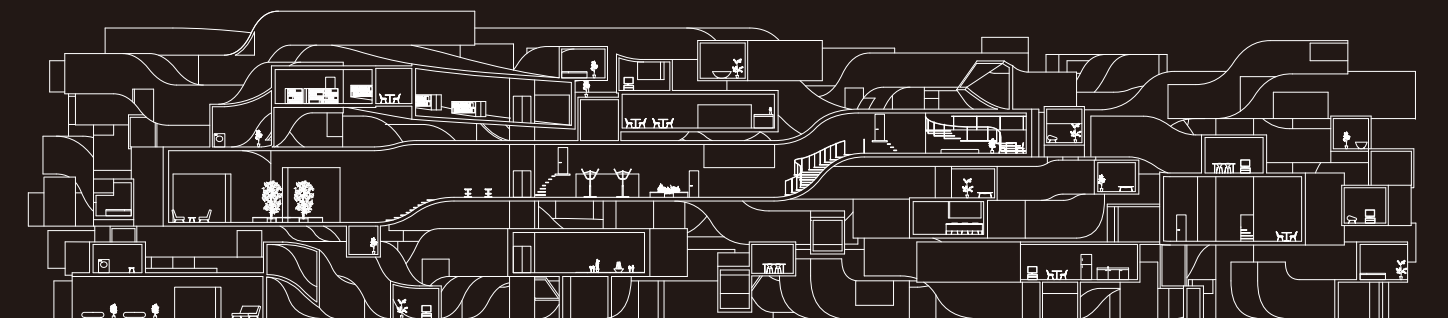
夜景パース

■公共施設の機能分布



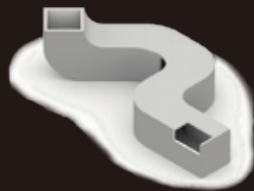
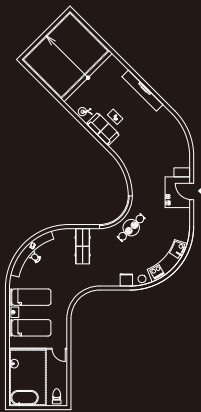
A: ロビー
B: 新刊・雑誌コーナー
C: カフェ / c-1: サブエントランス
D: イベントスペース
E: 軽運動スペース / e-1: ジム
F: 児童スペース / f-1: 小体育室
G: ギャラリー

H: ラウンジ
I: 図書スペース / i-1: 視聴覚スペース / i-2: ミニシアター
J: ミーティングスペース / j-1: 講義スペース
K: 作業スペース / k-1: サブエントランス / k-2: ギャラリー
L: 料理スペース / l-1: 和室
M: ロビー

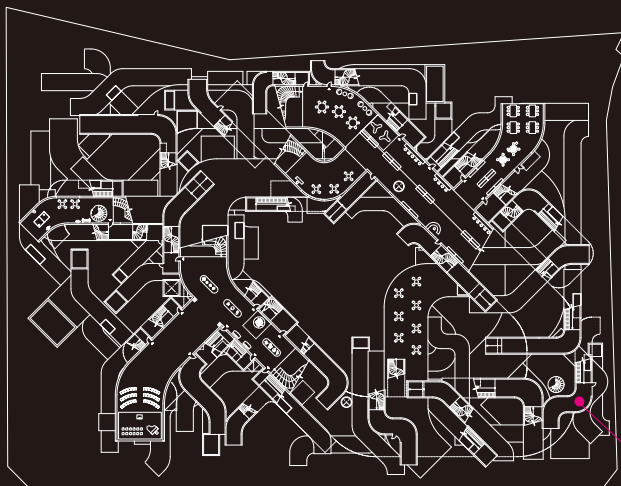
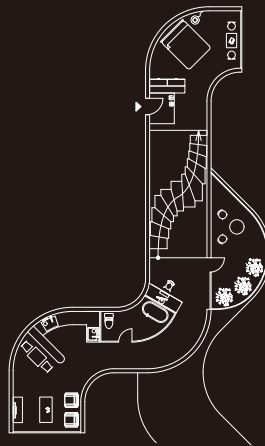


section

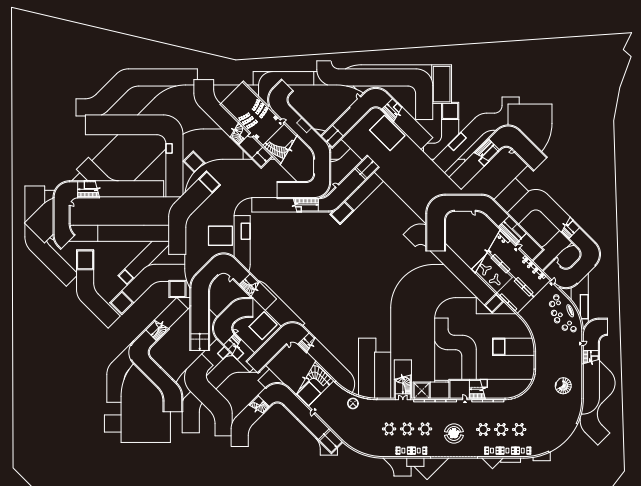
A:flat type



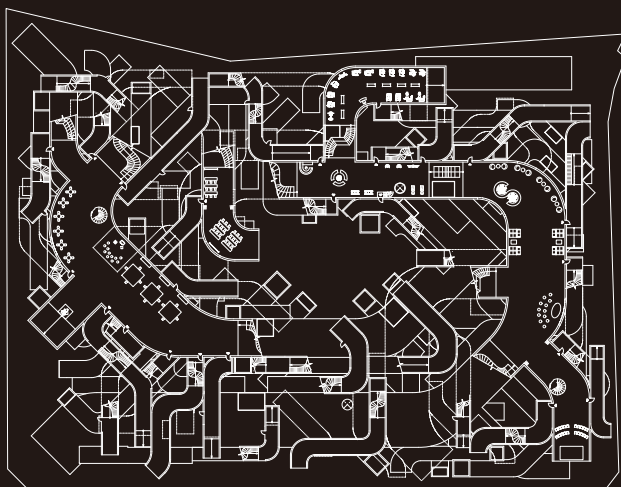
B:maisonette type



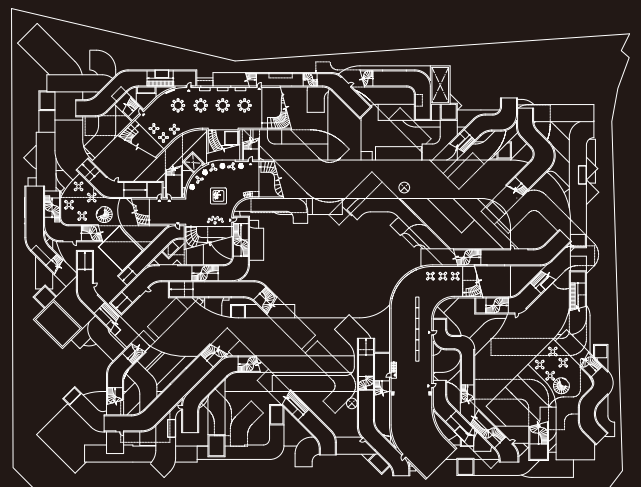
LEVEL4



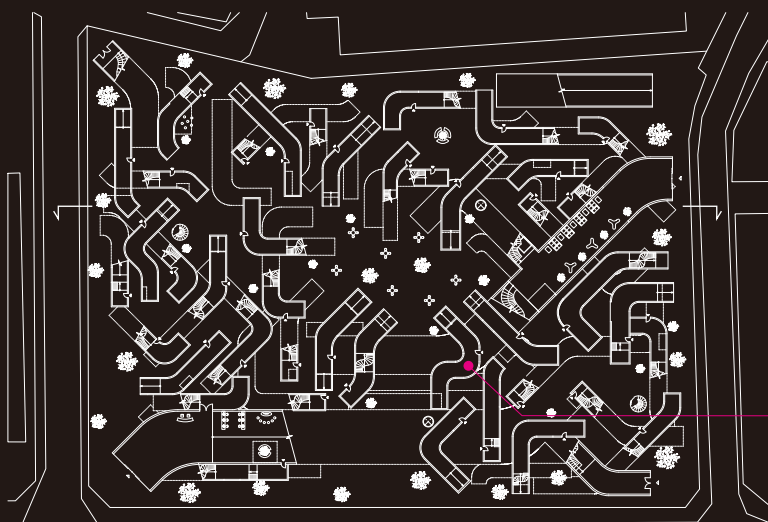
LEVEL5



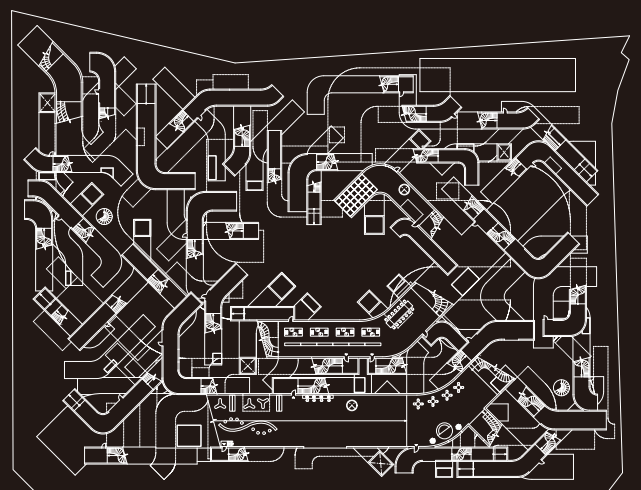
LEVEL2



LEVEL3



LEVEL0



LEVEL1

